

# 島根県川本町でエゴマビジネスを始める人を募集しています！

## エゴマビジネスとは？

川本町の特産品である『エゴマ』を自ら栽培し、加工・販売までをおこなう総合的なビジネスのことです。

川本町で栽培・加工・販売までをおこなっている企業で研修して頂き、ビジネスのノウハウを学び、将来的には、研修先の企業に就職することも、自らが独立して起業(就農)することもできるビジネスプランです。

## プランの流れ

(U・Iターン)

(研修期間)

就農相談

地域おこし協力隊  
(3年間 200千円/月)  
(株)オーサン  
栽培・加工・販売

独立

独立: 農業次世代人材投資補助  
(5年間 最大1,500千円/年)

就職

就職: 固定給の支給

## 研修先の概要

- 株式会社 オーサン
- 設立 昭和63年5月2日
- 資本金 2,000万円
- 従業員 38名(男性:32名 女性:6名)
- 規模 本社・営業所2カ所  
加工場あり
- URL <http://www.o-san.co.jp>

### TBS「名医のTHE太鼓判！」

において、  
当社のえごま油が  
紹介されました。

(株)オーサンHPから抜粋

えごまをもっと食卓に

$\alpha$ -リノレン酸約60%含有

平成17年からエゴマに取組み、自社で栽培から加工・販売をおこなっています。農地と加工場で有機JAS認定を取得しており、栽培面積は約2haです。関東・関西への販路、またネット販売等にも取組み、川本町のエゴマ産業の中核企業と位置づけられています。

主な商品は、エゴマ油、エゴマを使った調味料、エゴマ鴨 等

## 求める人材

- ・川本町に移住し、エゴマビジネスに取り組む方
- ・20歳～50歳までの方で、普通免許を有する方
- ・地域住民として地域活動に積極的に取り組む方
- ・夢とやる気を持ち、地域活性化に興味のある方

問合せ先: 川本町 産業振興課

TEL 0855-72-0636



# 移住・就農支援

## 研修・就農補助金

研修時(最大3年)就農後(最大5年)に必要な経費を助成する制度があります。

【地域おこし協力隊活動補助金】

・200万円/年(就職時もあり)  
最大3年間

【農業次世代人材投資事業】

・就農後150万円/年 最大5年間

就農支援

## 農地

研修中の農地は、研修先でご用意します。

研修後に就農した場合は、農業委員会やサポートチームで地域の条件の良い空き農地を探しを支援します。

## 施設・機械

就農した場合に、必要な農機具・施設等の初期投資を補助する支援制度があります。

【支援事業の一部】

・農業用機械購入費用の一部を助成  
・エゴマ作付に対する補助金

## 住居

単身世帯の方は、研修先が所有する物件に入居することができます。

また、ご家族連れの方の場合は、世帯用の町営住宅に入居することができます。

移住支援

## 子育て支援制度

子育て世帯には、様々な支援制度があります。

【子育て支援の一部】

・保育料の無料化  
・乳幼児、小・中学生・高校生の医療費の無料化

## 周辺環境

【生活インフラ】

・保育所、公立小中学校あり  
・病院、金融、公的機関あり

【アクセス】

・広島まで車で1時間45分  
・大阪まで車で4時間50分

まずは体験してみませんか？ \ご要望・日程相談はこちらまで/

移住・定住 総合相談窓口：かわもと暮らし情報センター Tel0855-74-2110

専任のスタッフが、仕事、住まい、子育てに至るまで、移住・定住にまつわるあらゆる相談にワンストップで対応しています。メール、電話での個別相談はもちろん、各地相談会への出展やPRイベントの開催、「かわもと暮らし体験ツアー」の運営などを行っています。

## 先輩社員のヒストリー((株)オーサン)

平成22年に千葉県から島根県川本町に家族でUターンし、(株)オーサンでエゴマの栽培・加工・販売に取り組んでいます。

千葉県ではサラリーマンとして働きながら、故郷である川本町で働きたいと考え、家族を説得して移住しました。

(株)オーサンでは、栽培・加工・販売を担当しています。

栽培では、トラクターで畑を耕したり、コンバインで刈取りを行います。加工では、自社のエゴマを搾油しています。油が搾油機から出る瞬間に感動したことを覚えています。

販売では、関東・関西圏を中心に商談に飛び回っています。自分で栽培し、加工した商品は、相手バイヤーに自信を持って商談できます。

現在、入社して10年となりました。この10年間、(株)オーサンの社員の方や役場の職員、地元の仲間達などいろいろな人たちに支えてもらいながら、10年が経ちました。

エゴマというマイナーな商品で勝負していくことは、なかなか困難ではありますが、逆を返せば、エゴマしかない魅力が商品の強みと考えて販売をおこなってきました。

今、エゴマビジネスという可能性が未知数の誇りを持つ仕事につけたと感じています。妻と子ども6人とこれからも仲良く暮らしていきたいと感じる今日この頃です。

